

# Brekeke PBX

Version 2.1

録音ファイル処理用プラグイン開発ガイド

Brekeke Software, Inc.

## バージョン

Brekeke PBX v2.1 録音ファイル処理用プラグイン開発ガイド, 2008 年 2 月

## 著作権

本書の著作権は、Brekeke Software, Inc. にあります。

Copyright ©2003-2008 Brekeke Software, Inc.

本書の一部または全部を、Brekeke Software, Inc. との書面による同意なしに、複製、複製、転載、多言語への翻訳、書き換え、あるいは、転送することは法律で禁じられています。

## 免責事項

Brekeke Software, Inc. は予告なしに本書の内容を変更する権利を有します。

## 登録商標

- ◆ Linux は Linus Torvalds 氏の米国及びその他の国における登録商標あるいは商標です。
- ◆ Red Hat は米国 Red Hat, Inc. の登録商標です。
- ◆ Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- ◆ Mac は米国及びその他の国で登録されている Apple Computer, Inc の登録商標です。
- ◆ その他製品名と会社名は、一般にその会社の登録商標です。

## 目次

1. はじめに.....	3
2. 開発環境.....	3
3. 作成の手順.....	3
4. インターフェース PBXEVENTPLUGIN .....	4
4.1. BOOLEAN EVENTRECORDED( STRING USER , PROPERTIES UPROP, FILE FILE, PROPERTIES PROP, INT TYPE ) .....	4
5. サンプル.....	5
6. インストール方法.....	6
6.1. クラスパスを通す .....	6
6.2. プラグイン・クラス名をプロパティファイルに記述する.....	6

## 1. はじめに

Brekeke PBX v2.1 では、留守番電話、通話録音時にファイルが作成された時に、それを処理するためのプラグインを記述できます。プラグインは Java で記述します。このドキュメントは Java によるプログラム開発ができる方を対象に書かれています。

## 2. 開発環境

JDK1.4 以降

Brekeke PBX v2.1 以降

## 3. 作成の手順

- 1) ビルド時のクラスパスに、  
<Brekeke PBX インストールディレクトリ>/webapps/pbx/WEB-INF/lib/ondopbx.jar を指定してください。
- 2) com.brekeke.pbx.media.plugin.RecordingPlugin インターフェースをインプリメントしたクラスを作成してください。

## 4. インターフェース RecordingPlugin

パッケージ: com.brekeke.pbx.media.plugin

### 4.1. boolean **eventRecorded**( String user , Properties uprop, File file, Properties prop, int type )

録音が行われ、ファイルが作成された時に呼び出されます。クラスのインスタンスは、メッセージが作成される度に作成されます。

パラメータ:

user	ユーザー	
uprop	ユーザーに関するプロパティ	
file	作成されたファイル	
prop	ファイルのプロパティ	
type	タイプ	
	TYPE_VOICEMAIL(0)	留守番電話
	TYPE_CONVERSATION_RECORDING(1)	通話録音

戻り値:

ファイルを削除する場合は、false を返します。ファイルを保存する場合は、true を返します。

## 5. サンプル

以下は、通話録音されたファイルをFTPサーバにアップロードするサンプルプログラムです。留守番電話の録音が行われた場合には、何もしません。

(実際にFTPにアップロードする部分は他の資料を参考にしてください。)

```
package yourpackage;

import java.io.*;
import java.util.*;

import com.brekeke.pbx.media.plugin.RecordingPlugin;

public class YourRecordingPlugin implements RecordingPlugin {

    public boolean eventRecorded(String user, Properties userProp, File file,
        Properties prop, int type) {

        if( type == TYPE_CONVERSATION_RECORDING ){
            SampleFTPUploader.uploadToFtpServer( file );
            return false;
        }else{

            return true;
        }
    }
}
```

## 6. インストール方法

### 6.1. クラスパスを通す

コンパイルしたクラスファイルを下記ディレクトリ下に、パッケージ名のディレクトリ構造で置きます。

<Brekeke PBX インストールディレクトリ>/webapps/pbx/WEB-INF/classes

例) YourClass というクラスのパッケージ名が com.yourdomain の場合は、

<Brekeke PBX インストールディレクトリ>/webapps/pbx/WEB-INF/classes/com/yourdomain

というフォルダの下に、YourClass.class を置きます。

または、クラスファイルをディレクトリ階層ごとJAR ファイルに圧縮して、下記ディレクトリの下に置いてください。

<Brekeke PBX インストールディレクトリ>/webapps/pbx/WEB-INF/lib

### 6.2. プラグイン・クラス名をプロパティファイルに記述する

#### 1. 全てのユーザーに対して適用する。

[オプション] > [アドバンスド] 画面で、com.brekeke.pbx.Setting.RECORDING\_PLUGIN というプロパティを追加します。

例) com.brekeke.pbx.Setting.RECORDING\_PLUGIN = yourpackage.YourRecordingPlugin

#### 2. 特定のユーザーに対して適用する。

<Brekeke PBX ディレクトリ>/webapps/pbx/WEB-INF/work/pbx/users/\*\*\*/user.properties をテキストエディタで開き、以下の例のように media.recording.plugin というプロパティに作成したクラス名をパッケージ付きで指定して保存します。この方法の場合は、再起動は必要ありません。

例) media.recording.plugin = yourpackage.YourRecordingPlugin